

～観光客、登山者の皆さんへ～

ヤマビルの被害から 身を守るために

ヤマビルの吸血被害が例年、4～11月にかけて発生しています。特に気温が20度以上の湿った蒸し暑い時にはヤマビルの活動が活発となりますので、この時期にヤマビルの生息地域に行く際には必ず被害防除対策をとってください。



ヤマビル

動物や人の血液を吸う
陸生の生物



① 吸血予防のために

ヤマビルに吸血されないためには、服装や行動に気をつけることが重要です。

服装の注意・忌避剤の使用

- ヤマビルの侵入を防ぐため、野外では極力肌の露出を少なくする。
- ヤマビルが体に付着しないよう、忌避剤を使用する。

長袖、長ズボン、
長靴、手袋、
帽子等を着用。

ズボンの裾は靴下の中に入れる、半ズボン
を着用する場合には、
その下に厚手のタイツを履く。

上着の裾をズボンの中に入れる、襟元はタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用。

市販のヤマビル専用の忌避剤や食塩水（濃度20%）などを長靴やズボンなどに吹きかける。

行動の注意

- 歩行中、30分に1回程度は足元などを見て、ヤマビルの付着や吸血されていないか確認する。
- 靴の中を確認する場合は、日当たりの良い地面が乾燥した場所で行う。
- 休憩時などに腰を下ろす時は、周囲にヤマビルがないかどうか良く確認する。
- ザックなど持ち物を地面に直接置かないよう気をつける。

② ヤマビルをみつけたら

ヤマビルを見つけたら、定着して繁殖しないように、すぐに駆除しておきましょう。

駆除の方法

- 食塩をかける、食塩水(濃度20%)を入れた容器にヤマビルを入れる。
- 市販の忌避剤やディート30%入り虫除けスプレーをかける。
- ハサミで切る。

※ヤマビルの体は弾力性があり、靴で踏み潰して駆除することは困難です。



③ ヤマビルに吸血されたら

対策をしていたけど吸血されてしまった！という時に備えて、取り除く際の方法を確認しておきましょう。

対処の手順

① ヤマビルを取り除く

食塩や消毒用エタノールなどをヤマビルにかけるか、ライターの火など熱を近づける(やけどに注意)とはがれる。それらを持っていない場合は、手で前吸盤をゆっくりはがす。

② 取り除いたヤマビルを駆除する

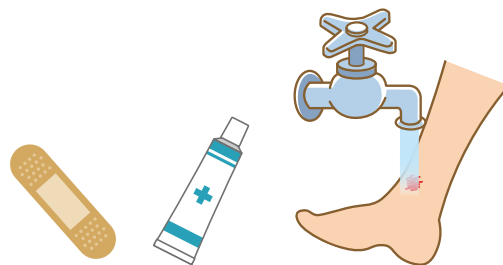
吸血したヤマビルは産卵が可能となり増えてしまうため、その場で駆除する。

③ 傷口を洗浄する

指でつまんでヤマビルの唾液成分を絞り出し、できれば消毒用エタノールや水で洗う。

④ 絆創膏を貼って、血が流れるのを抑える

抗ヒスタミン剤軟膏(虫刺され・かゆみ止め)を塗っておくと傷の治りが早くなる。



🌲 問い合わせ先 🌲

栃木県環境森林部森林整備課



〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-3296

E-mail shinrin-seibi@pref.tochigi.lg.jp

H P <https://www.pref.tochigi.lg.jp/d08/yamabiru/20220419.html>

